

## 外部人材との協働の意義 ～「校内ハローワーク」を終えて～

校長 清水隆彦

三中だより6月号で「ねらいが明確でないものに成果は期待できない」という内容の文を書かせていただきました。運動会でも、修学旅行でも、この行事で生徒の何を成長させたいのかというねらいがしっかりと押さえられていなければ、行事は単なるイベントの羅列にしかありません。

本校では、10月17日(土)に「校内ハローワーク」を実施させていただきました。これは30業種の職業人の皆様に講話をいただき、将来を見つめながら今を考えるとという取り組みです。これまで長期にわたり校内ハローワーク特命担当の教員と外部人材であるキャリア教育コーディネーターの皆様と連絡を取り合い、学校と外部の人材が協働する形で当日の実施に結びつけました。

当日、講師の皆様には早めにご来校いただき、十分な時間をかけ打合せを行いました。私から講師の皆さんにお話ししたことは、この行事の一番の目的は、単なる職業紹介ではないということでした。第一のねらいは、この行事によって毎日の学校生活を見直し、日常の学校生活の改善に結びつけるということです。社会で活躍する皆様から中学校生活で、今何を鍛えておいてほしいのか、身につけておいてほしい力とは何かをお話しいただきました。第二のねらいは、職業との出会いです。講座の半分は希望をとらず機械的に割り振ります。何故そうするのかといえば、中学生が知っている職業には限りがあります。まだ知らぬ職業と出会わせたいというのが大きなねらいです。卒業生の中には「校内ハローワーク」で初めて出会った職業にいつしかあこがれを持ち、その職業についての生徒もいます。希望だけでは知っている、興味のあるものだけに偏る傾向があります。発達段階にもよりますが、中学校でこのような行事を実施する場合、その学校がどのようなねらいをもち、何を指すのかがしっかりと押さえられていなくてはなりません。



【綿密な講師との打合せ】

一般的な傾向として学校は、外部の方々に講師を依頼する際、どうしても任せっきりになる傾向があります。学校として何を指すのかをしっかりと講師の皆様へ伝え、ねらいを共有しながら協働できたときこそ、その行事は最大限に威力を発揮します。今回の「校内ハローワーク」はそういう意味で大きな成果を上げることができたと考えています。次にお示しする講師の皆様よりいただいた感想が何よりそれを物語っているように感じます。実施に向けた多くの皆様のご協力を深く感謝申し上げます。



※生徒の感想等は次の号の学校便りでお知らせいたします。

※当日の様子は、荒川ケーブルテレビ「こんにちは荒川区」で11月2日(月)～11月8日(日) 9:00～、12:00～、18:00～、21:00～の時間帯で放映予定です。

〔講師の皆様の感想より一部抜粋〕

## 1 今回の「校内ハローワーク」の試み(趣旨・実施形態などをどのように受け止められましたか。

- ・私自身、中学生の時にこんな試みがなかったのでうらやましく感じました。また、自分を見つめなおすいい機会になりました。(フィットネスインストラクター)
- ・非常に良い機会と思いました。私の中学生時代は、このような試みはなかったのですが、あったら、視野が広がり、今と異なる選択をしていたかもしれません。生徒さんにとって、とても良いきっかけの場だと思います。(キャリアコンサルタント)
- ・事前に校長先生より、今回の趣旨説明をいただけたので、必ずしも就職へ結びつけるのではなく、「今の生活にひびく事を」という流れをつくりやすく、良かったです。(アニメーター)
- ・キャリア教育を中学生の頃からやること自体、とても素晴らしいことだと思います。まだまだ駆け出しですが、機会があれば、ぜひまた受けてみたいです。(映像ディレクター)
- ・進路への関心が高まると思いますので、とても素晴らしい取り組みだと思います。(声楽家)
- ・素晴らしい試みだと感じました。この学校の生徒は幸せですね。(メディア関係)
- ・中学校の段階から、様々な職業の人と接する機会をもつことは貴重だと思います。(東京ガス)
- ・進路選択という岐路にまだ立つ前の生徒たちに、部分的にも具体的な将来像を描く機会を持っていただけるという点で非常に有意義な取り組みであると感じます。他の教室での集まりを拝見しておりませんが、今回の1回あたり11名という規模をとっても発表等行う場として心地よく感じました。  
(航海士)
- ・自分が中学生の立場であれば是非受けてみたかったなと。非常に素晴らしい場で生徒の皆さんがうらやましいほどでした。職種の数にも大変驚きました。(大学でもこんなことはなかったです)  
(ディレクター)
- ・生徒の将来を考えたよい試みだと思います。また、会社や仕事のことを知ってもらう機会でもあったので、こちらとしてもすごくためになりました。(ガードマン)
- ・中学時代に職業について、学ぶこと、それもその職業人から話を聞くことはとてもよい試みです。30もの職種を集めるのは大変だとは思いますが、是非続けてください。(新聞記者)
- ・興味・関心のある職業について話を聞くという機会が自分の中学生の時にあったらよかったと思いました。また、様々な職業との出会いの場になっていること本当に素敵だと思います。子どもたちの未来がより広がるのではないのでしょうか。(こども園)
- ・職業人の話を聞いて、中学生生活を見直すというのは当初想像していた仕事を知る趣旨以上のものでありよいものと思います。ただ、自分が貢献できたかは、はなはだ自信がありませんが。。。。。  
(経済産業省)
- ・子供が将来自立していくための手段としての職業が色々あることを知り、その準備のための選択肢を提供する場と受け止めた。(薬剤師)
- ・自分自身の中学時代には考えられないような素晴らしい試みと思います。(日本電気)
- ・自分の時代はこのようなことがなかったので、純粹にうらやましいと思いました。中学生時代から、仕事のことを考えることで、自分がいま何に取り組んでいけばよいのか、を考える機会を持つことはよいことだと思います。中一にはまだ早いかも、とも思うところもありますが、より多くの仕事にふれるという意味ではよいのかもかもしれません。(JT)
- ・学生さんの質問が熱心なことに感激しました。校長先生の趣旨説明があり、講話しやすかった。  
(パティシエ)
- ・色々な職業の人と直接話しができる機会を学生に提供するのはよいと思います。(海上保安庁)
- ・この取り組みには非常に関心を寄せており、このような活動が全国的に広がることを期待したいと思います。私もできる限り、このような活動に積極的に参画していきたいと思います。(大日本印刷)
- ・非常によいと感じた。(声優)
- ・新しく出会うという趣旨にとっても共感でき、素晴らしいと思いました。スケジュールの合う限り協力できればと思います。(農業)
- ・中学生の時にいろんな仕事を知れるのはとても良い事だと思います。また、今回は希望ではなくても話を聞いてみるという試みで男性が1名参加してくれました。彼がいることで、彼の友だちも見に来てくれて数名の男子学生が本物に触れる機会ができたのでよかったと思います。(ネイリスト)
- ・中学生のうちに、このような様々な業種を人の話を直接聞けるという体験はとても素晴らしく、また うらやましくもありました。清水校長がおっしゃっていた「様々な職業に出合わせる」「今の中学校生活を見直す」という2つのメッセージも十分に活かされたそれぞれ大変に意味のある内容だと感じました。  
(編集者)
- ・毎年、校内ハローワークに参加させて頂いていますが、中学時代から、社会人、大人になるために、これからの生き方、夢、そして校長先生の言われた中学校生活の見直す機会にという趣旨は素晴らしいと思います。(鉄道)
- ・生徒に学校生活、自分自身を見つめる機会を創出しており、素晴らしい企画だと思う。(赤十字)
- ・様々な職種の方々から、中学のとき、やっておくべきことを教えて頂くのは、中学生にとってとても有意義なものになると思います。(消防)